

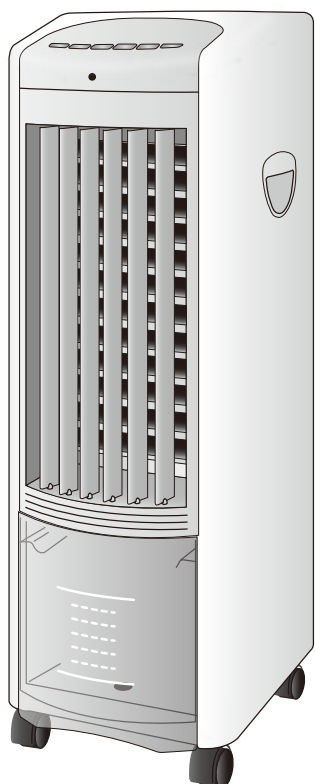


# リモコン冷風扇 FCR-C407

## 取扱説明書

### もくじ

保証書付



- 安全上のご注意……………①～②
- 冷風扇のしくみ……………③
- 使用上のご注意……………③～④
- 各部の名称……………⑤～⑥
- 使いかた……………⑦～⑫
- お手入れ……………⑬～⑭
- 仕様……………⑮
- 故障かな?と思ったら……………⑯
- アフターサービスについて……………⑰
- 保証書……………裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは弊社冷風扇をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。  
ごぞいました。
- ・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



**警告**

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



**注意**

誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害のみに結びつくもの

## 図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



**警告**



分解禁止

**分解・修理・改造をしない**

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

**水につけたり、水をかけたりしない**

ショート・感電の原因になります。



禁止

**電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない**

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

**幼児の手の届く所で使わない**

感電やけがの原因になります。



禁止

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使わない**

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

**吹き出し口などのすき間からピンや針金など、異物を入れない**

感電や異常動作して、けがの原因になります。お子様のいるご家庭では特に注意してください。

## ⚠ 警告



プラグを  
抜く

**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**

感電・けがをすることがあります。



根元まで  
差し込む

**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

感電・ショート・発火の原因になります。



ほこりを  
とる

**電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは  
乾いた布で拭き取る**

火災の原因になります。



プラグを  
抜く

**異常時(水漏れ、コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源  
プラグを抜く**

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお  
買い上げの販売店にご相談ください。



濡れ手禁止

**濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない**

感電やけがの原因になります。

## ⚠ 注意



禁止

**不安定な場所に置かない**

転倒したり、水漏れの原因になります。



プラグを  
持って抜く

**電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグを  
持って引き抜く**

感電やショートして発火する原因になります。



プラグを  
抜く

**使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く**

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

**吹出口をふさがない**

紙や布などでふさぐと故障の原因になります。



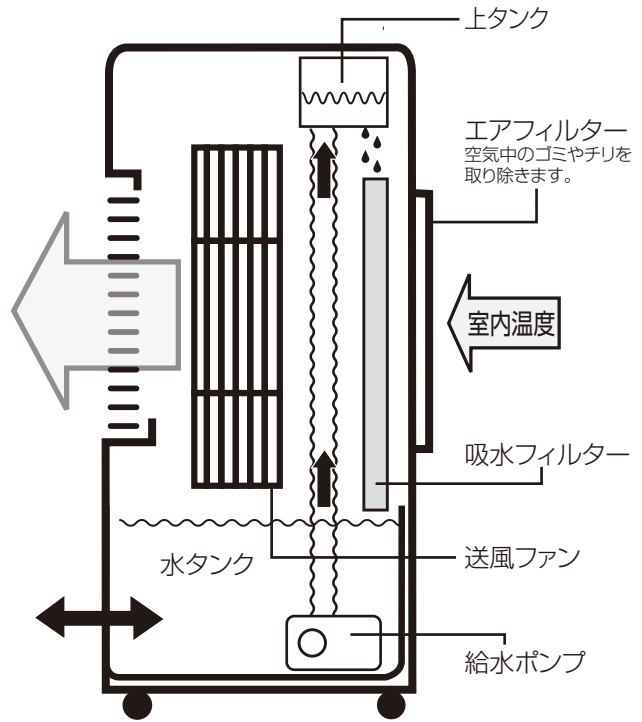
禁止

**高温多湿・水のかかるところでは使用しない**

漏電・感電・火災の原因になります。

# 冷風扇のしくみ

- 水タンクの水を給水ポンプでくみ上げて上タンクに供給します
- 上タンクに開けられた穴から水が落下して吸水フィルターを湿らせます
- 湿ったフィルターを風が通り抜ける際、水の蒸発によって気化熱を奪われ、風の温度が下がります



- この製品はエアコンやクーラーとは違い、お部屋全体を冷やしたりすることはできません。水の蒸発を利用するため、閉め切った部屋で使用すると湿度が上がります。通気の良い場所で使ったりエアコンと併用して省エネにお役立てください。
- 気化熱の作用で温度を下げるため、周囲の温度や湿度によって効果に差がでます。また、湿度が高い場合は、気化しにくくなり冷風効果が得られないことがあります。

## 使用上のご注意

- 水タンクに長時間水を入れたままにしますとカビやにおいの原因になります。2～3日に1度は、新しい水と入れ替えてください。また、同様に2～3日使われなかったときも新しい水と入れ替えてください。しばらくお使いにならないときは水を抜いてから、送風運転して吸水フィルターを充分乾燥させてください。
- 冷風運転のときは、水タンクに水を入れてください。入れない場合は、冷風にはなりません。(冷風ランプが点灯しません)

# 使用上のご注意

- エアフィルターにホコリ等がたまりますと、異常過熱や故障の原因になります。フィルターは定期的に掃除してください。
- 水栓がしっかりはまっていないと水漏れの原因になります。はめにくいときは、水で濡らすとはめ易くなります。
- 周囲温度や湿度が高いときには、水タンクの外側が結露することがあります。とくに保冷剤や氷を併用したときには結露が発生しやすいので、必ず付属の結露トレーに本体を設置してお使いください。

## — 知っておいてください —

### ●電源を入れたときの音について

当機は、電源スイッチを押すと送風が始まると同時に自動的にスイングして、冷風運転を行い、水をくみ上げるポンプが動きます。

そのため、水タンクに水が入っていないとポンプの動作音(ガーとかゴー)が聞こえますが、異常ではありません。この音はセンサーの働きで、すぐにポンプが停止するため聞こえなくなります。

冷風扇は、基本的に水を入れて冷風運転をするために作られていますので、ご理解ください。

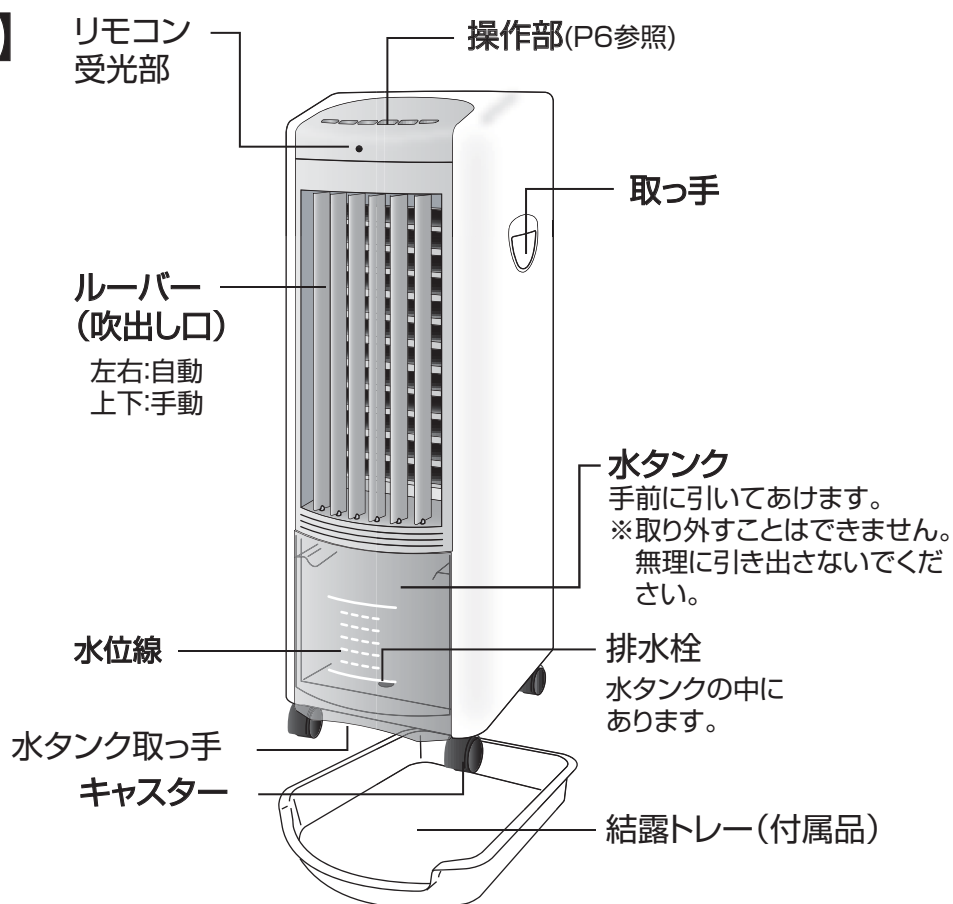
## ■設置のしかた

- 水平で平らな場所に置いてください。転倒して水がこぼれたり、キャスターが動いて、思わぬけがの原因になることがあります。
- 本体の背面側から空気を吸入します。タオルや衣類等をかけてふさいだり、壁にぴったり付けるとモーターに負荷がかかり、異常発熱の原因になります。壁からは5cm以上離して置いてください。
- 前面にもタオルや衣類等をかけて吹出し口をふさいだ状態でご使用にならないでください。また、操作パネルにあるリモコンの受光部もふさいでしまうと、リモコンがきかなくなるので、ご注意ください。
- 本体の上に重いものをのせたり、寄りかかったりしないでください。けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所に設置しますと、本体の変質・変色の原因になります。



# 各部の名称

## 【本体正面】



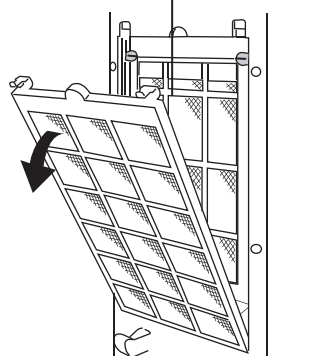
## 【本体背面】

**エアフィルター**  
取り外すことができます。  
定期的にお手入れをしてください。

**電源コード  
巻き取りフック**  
長期間使用しないときは  
電源コードを掛けてください。

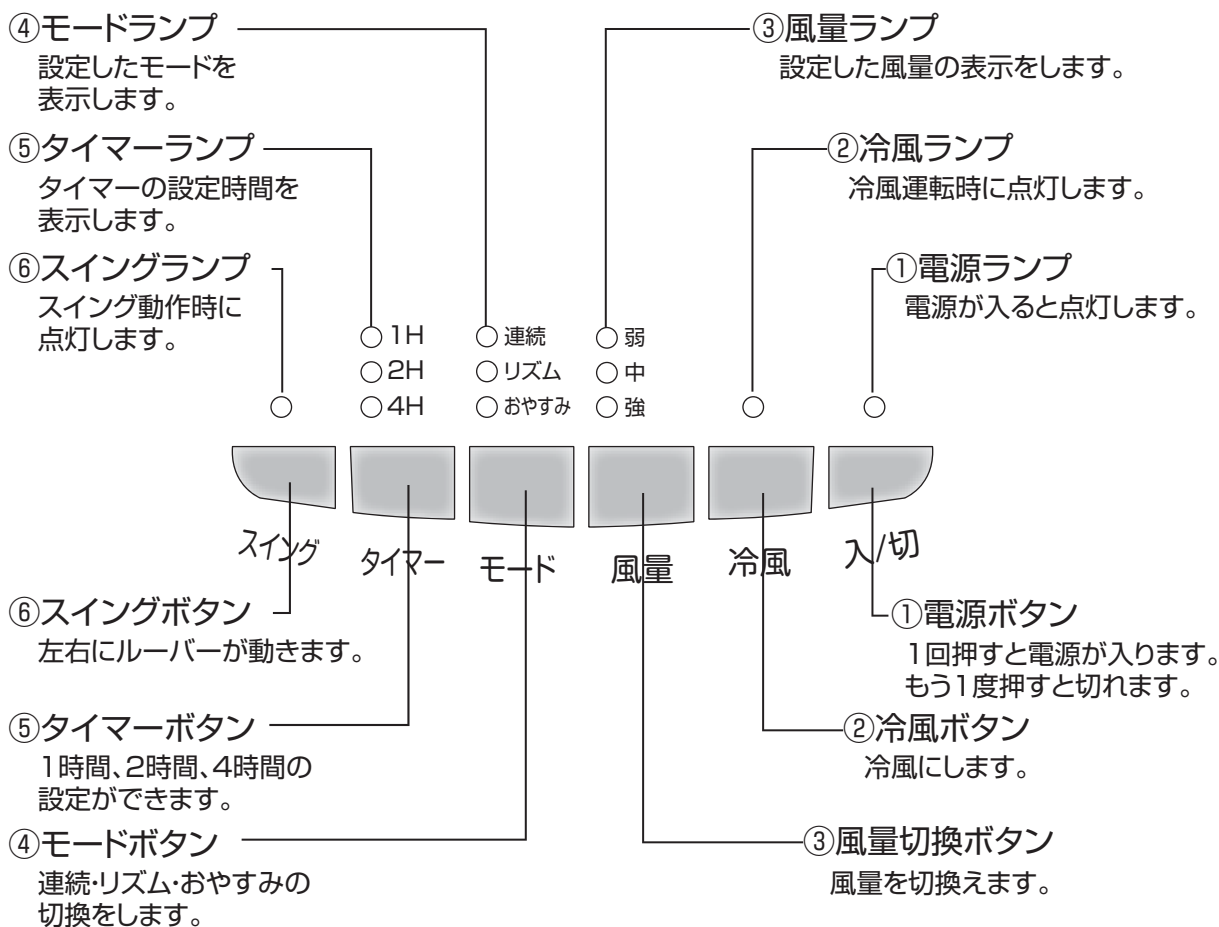
**電源コード**

**吸水フィルター**  
取り外してお手入れ  
ができます。



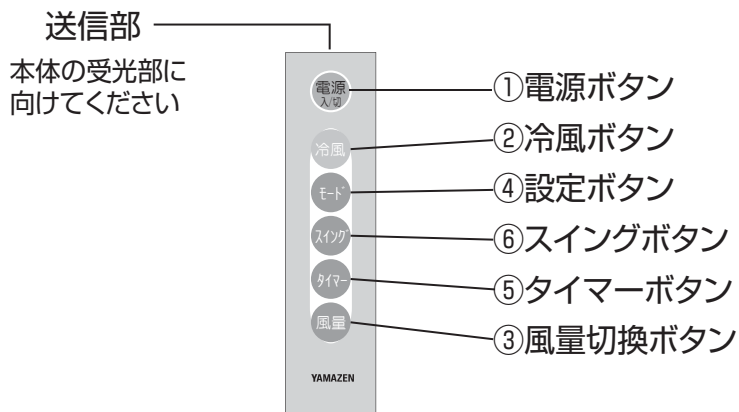
# 各部の名称

## ■操作部



## ■リモコン部

1.5V単4乾電池を2本(別売)入れてください。



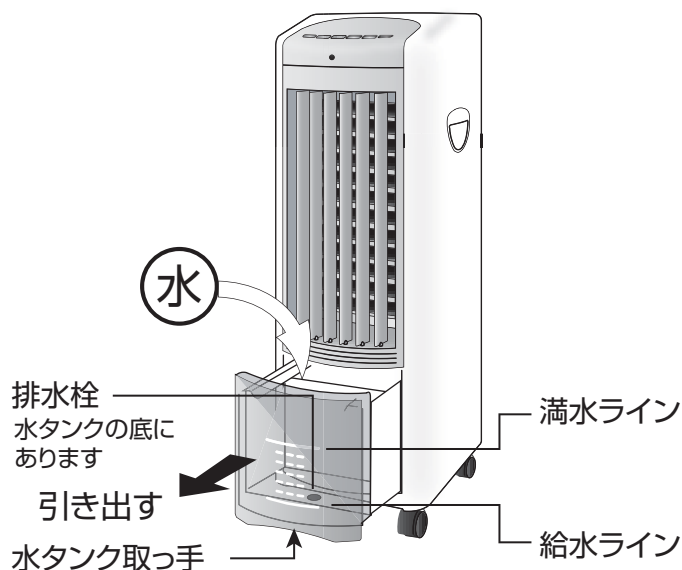


# 使いかた -準備-

お使いになる前に

安全上の注意をよくお読みになり、水平で安定した場所に設置してください。

## 1 水の入れかた(冷風運転をするときは必ず水を入れてください)



①排水栓がしっかりはまっているか確認してください。

②水タンク取っ手を持ち、水タンクを引き出して水を入れてください。  
※水タンクは、約10cm引き出すことができます。  
※勢いよく引っ張ったり無理に引き出さないでください。  
破損などの原因になります。

③水量は水位線の“給水”と“満水”のライン範囲内になるよう注意してください。  
※満水量は、4ℓ

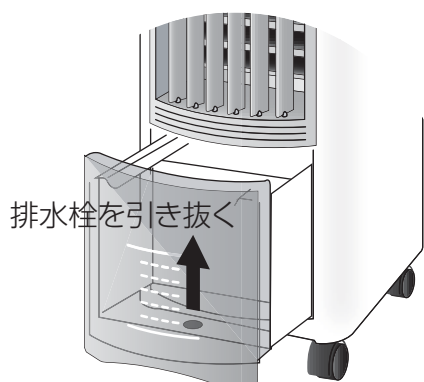
④水タンクを本体に戻してください。



**注意**

- ・電源プラグを濡らさないように注意してください。
- ・水量が“給水”以上入っていないと冷風運転になりません。また“満水”以上入ると水漏れや故障の原因になります。

## 2 水の抜きかた(水を長時間入れたままにしないでください)



・タンクに長時間水を入れたままにしたり、水の注ぎ足しを繰り返すとカビやにおいの原因になります。2～3日に1度は新しい水と入れ替えてください。また、しばらくお使いにならないときは、水を抜いて、吸水フィルターを十分に乾燥させてください。

・水を抜くときは、水が本体下部より出てきますので、下が濡れても良い場所で栓を抜いてください。

・抜きかたは、

- ①水タンクを引っ張り出してください。
- ②底面に付いているゴム製の排水栓を引き抜いてください。



**注意**

- ・水タンクは取り外すことができません。無理に引っ張らないでください。

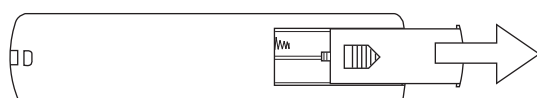


# 使いかた -準備-

## 3 リモコンに電池を入れる

### ■電池の入れかた

※電池は付属していません。市販の電池:1.5V単4形乾電池2本をご用意ください。



①フタを押さえながら矢印の方向にスライドさせて、取り外します。



②乾電池を図のような方向に入れます。



③元通りフタをします。



・動作しにくくなったときは、新しい乾電池と取り替えてください。  
・種類の違う電池や新・旧を混ぜて使わないでください。

### ■操作のしかた

- ・リモコンの送信部を本体正面に向けてお望みのボタンをゆっくり押してください。
- ・リモコンで操作できる範囲は約3mです。
- ・ボタンの機能はP6.各部の名称をご参照ください。



・リモコンの送信部に傷を付けないでください。  
・リモコンのボタンを2個以上同時に押さないでください。  
・リモコンを落としたり、踏んだり、水などをかけないでください。

### ■次のところではリモコン操作がきかないことがあります

- ・本体受光部とリモコンの間に障害物がある場合。
- ・インバーターの照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- ・本体の受光部に直射日光等の強い光が当たるところ。

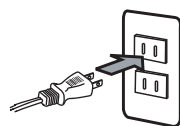
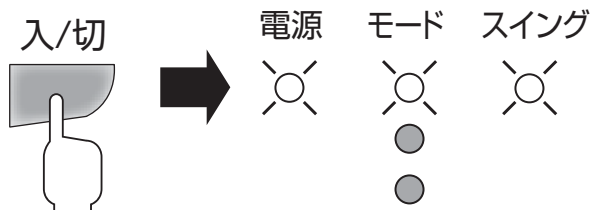
# 使いかた

本体の操作パネルおよびリモコンで操作します。  
操作方法は同じです。

## 送風運転

ファンの送風のための運転です。

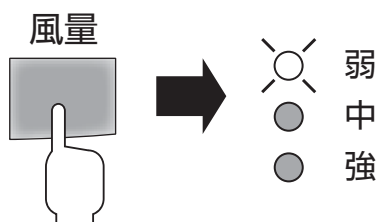
- 1 AC100Vコンセントにプラグを差し込み、  
電源ボタンを押す



電源ランプが点灯して風量「弱」、  
モード「連続」、スイングランプが  
点灯して、運転を開始します。  
※このときポンプの動作音が聞こ  
えることがありますが、センサー  
の働きですぐに停止します。

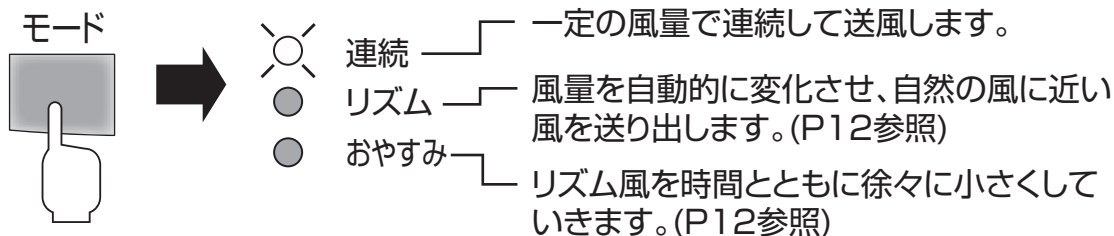
- 2 お好みによって運転状態を設定する

- 風量ボタンで風の強さを調節できます。  
現在の強さをランプの点灯で表示します。



ボタンを押すと「弱」→「中」→「強」の  
風量に切り換わります。

- モードボタンで風の種類を調節できます。  
現在のモードをランプの点灯で表示します。

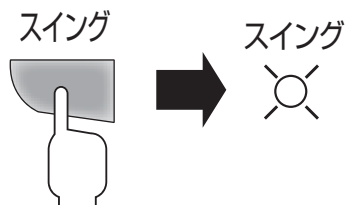


一定の風量で連続して送風します。

風量を自動的に変化させ、自然の風に近い  
風を送り出します。(P12参照)

リズム風を時間とともに徐々に小さくして  
いきます。(P12参照)

- スイングボタンを押してルーバーを動かしたり止めたりします。



ランプが点灯しているときは、ルーバーが作動  
します。スイングボタンを押すごとに作動と停  
止が切り換わります。

- 3 運転を停止するときは再度電源ボタンを押す

# 使いかた

本体の操作パネルおよびリモコンで操作します。  
操作方法は同じです。

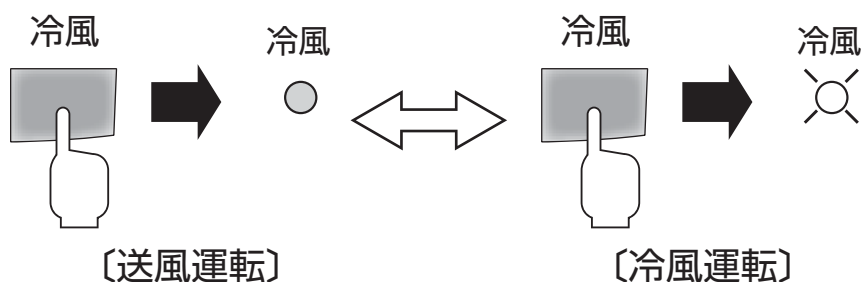
## 冷風運転 周囲温度よりやや低い自然な冷風を送り出します

### 1 水タンクに水が入っていることを確認する

- ・この機能を使用する場合には、必ずタンクに水を入れてください。
- ・水量が水位線の“給水”の位置より少ない場合は、ポンプが作動せず、冷風運転にはなりません。(冷風ランプが点灯しません)

### 2 電源ボタンを押す

- ・冷風運転を開始します。
- ・送風運転のときと同様に、風量・モード・スイングを設定してください。  
(9ページ送風運転の項参照)
- ・ランプが点灯しているときは、内部の給水ポンプが作動し冷風運転をしています。
- ・冷風ボタンを押すごとに冷風運転と送風運転が切替わります。



### 3 タンクの水が少なくなったら注水する

- ・水を満水にして通常10時間以上運転できますが気温・湿度によって大きく差がでますので、冷風ランプが消灯したら注水してください。

#### ご注意

タンクの中に水が残っていても、一定量以上でないとポンプは作動しません。  
(水位センサーで感知しています)  
水位線の“給水”の位置が最低量のめやすになります。  
また、水が少なくなったときにポンプが停止と作動を繰り返すことがありますが  
水量不足のためで故障ではありません。このようなときは注水してください。

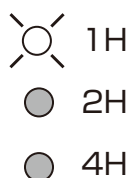
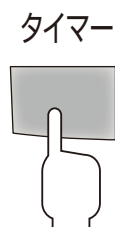
### 4 運転を停止するときは再度電源ボタンを押す

# 使いかた

本体の操作パネルおよびリモコンで操作します。  
操作方法は同じです。

## タイマー運転 設定した時間が経過すると停止します

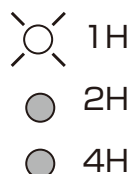
### 1 運転中にタイマーボタンを押す



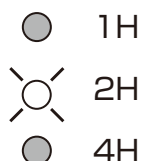
- ・タイマーランプが点灯してタイマー運転を開始します。
  - ・タイマー運転中でも風量などの設定を変更できます。
  - ・タイマーボタンを押すごとにランプの点灯位置が変わります。点灯しているランプが設定時間になります。
- ※設定時間:1・2・4時間

<設定時間の例>

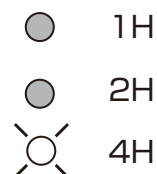
1時間



2時間



4時間

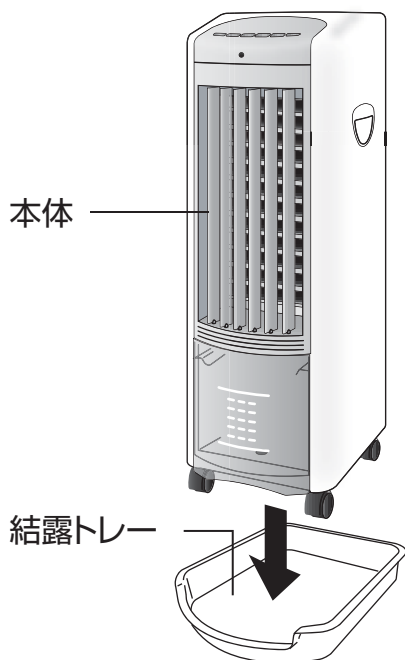


### 2 タイマー運転を解除するとき

- ・タイマーボタンを繰り返し押して、表示ランプが全部消灯した状態(4時間の次は全消灯)にするか、電源を入れなおしてください。

# 使いかた

## 結露トレー 付属品の結露トレーの使いかた



・結露トレーを水平で安定した場所に置いて、本体を設置して、水を入れてください。  
※水を入れてから設置すると、水があふれて床を濡らす恐れがあります。

・冷風の補助として、水タンクに氷や保冷剤を入れる場合は、必ずトレーをお使いください。  
※結露して床を濡らす恐れがあります。

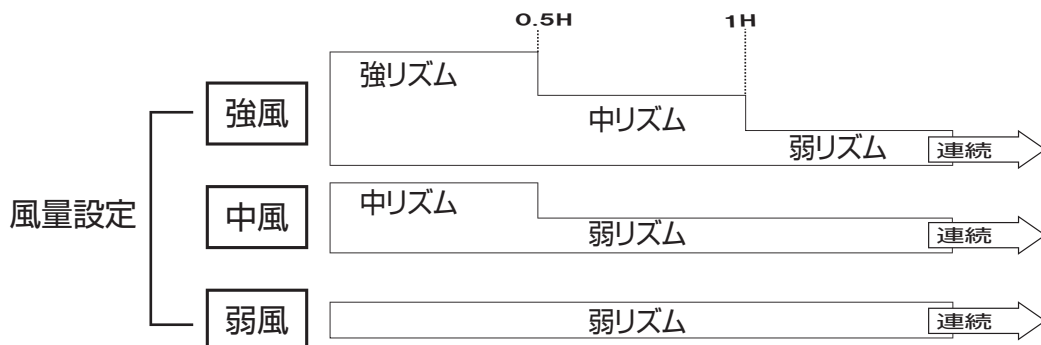
・トレーに流れた水は、早めに拭き取ってください。

## リズム風について

- ・リズム風にしますと、風量が一定ではなく自動的に変化し、自然の風に近い風を送り出します。
- ・風量スイッチの設定により、リズム風の強さも変化します。

## おやすみ風について

風量を“強”または、“中”に設定しているとき、時間の経過とともにリズム風の強さを弱くしていきます(下図)。



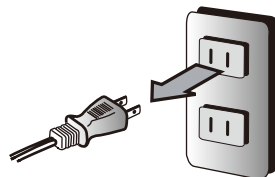
# お手入れ

## 1 電源プラグをコンセントから抜く

- ・お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。  
感電やけがの原因になります。



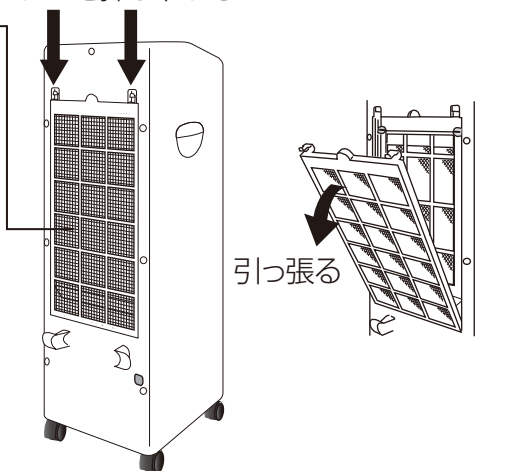
電源プラグをぬれた手で、抜き差ししないでください。感電の原因になります。



## 2 エアフィルターの掃除をする

- ・エアフィルターが汚れてくると風の通りが悪くなり、故障や発熱等の原因になります。定期的に確認して、ホコリやチリ等であつまってきたら掃除機で吸い取るか水洗いしてください。  
水で洗った場合は、充分乾燥させてから取り付けてください。  
エアフィルターは、右図の印部分の固定ツメを下に押し下げながら手前に引いて取り外してください。

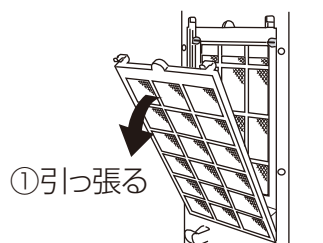
ツメを押し下げる



## 3 吸水フィルターのお手入れをする

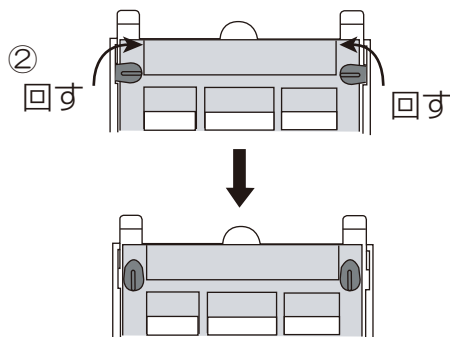
### ■取り外しかた

- ① エアフィルターを外してください。
- ② 吸水フィルター取付レバー(2個)を回して外します。



### ■洗いかた

- ・流水で汚れを流してください。
- ・落ちにくいときは、薄めた中性洗剤やぬるま湯にしばらくつけておいてから洗ってください。その後、洗剤を水でよく洗い流してください。



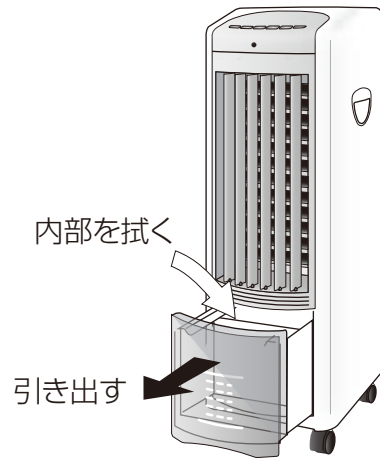
- ・充分に乾燥させ、再び取り付けてください。

# お手入れ

## 4 水タンクのお手入れをする

- ・水タンクを引き出して、水タンク内部を柔らかい布で拭いてください。

- ※水タンクは取り外すことができません。水タンクを勢いよく引っ張ったり、無理に引き出さないでください。破損などの原因になります。
- ※中央の仕切り板は、外すことができませんので、手の届く範囲をお手入れしてください。



水タンクの水の交換を怠ると、水あかや空気中のホコリによって水位センサーが固まって動かなくなったり、水を循環させるパイプなどが詰り冷風運転ができないことがあります。また、カビやにおいの原因になりますので、水の交換は、こまめに行ってください。

## 5 本体のお手入れをする

- ・ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをしてください。
- ・ベンジンやシンナー、みがき粉、金属たわしなどは使わないでください。

## 6 保管する

- ・水を抜いてよく乾かしてください。特に吸水フィルターは水分を含んでいますのでカビが発生しやすいため注意してください(水の抜きかたはP7の使いかた参照)。水を抜いた後、しばらく送風運転をして風を通しますとフィルターを乾燥させることができます。長時間ご使用にならないときも同様です。
- ・保管する際は、ポリ袋などに入れて、直射日光をさけ、湿気の少ないところで保管してください。



**注意**

電源コードは、きつくしぼったり折り曲げたりしないでください。故障の原因になります。



# 仕様

---

定格電圧	交流100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	40/43W
本体寸法	幅220*奥行305*高さ672mm
本体質量	5.3kg
電源コード長	1.8m
水タンク容量	約4L(有効水量:約2.8L)
安全装置	電流ヒューズ

# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

電源が入らない

電源プラグはコンセントからはずれたり、ゆるんでいませんか。

▶ コンセントにしっかり差し込んでください。

電源ボタンを押しましたか

▶ 電源ボタンを押してください。

風が涼しくない

タンクに水が入っていますか。

▶ タンクに水を入れてください。(P7参照)

気化熱によって温度を下げるため、気温・湿度によって冷え方に影響が出ます。

風が弱い

エアフィルターにホコリ等がたまっていますか。

▶ エアフィルターを掃除してください。(P13参照)

冷風運転にならない

水量が不足していませんか。

▶ 注水してください。水が入っていても“給水”の位置より低いときは冷風運転にはなりません。

風の音がうるさくなった

エアフィルターにホコリ等がたまっていますか。

▶ エアフィルターを掃除してください。(P13参照)

リモコンがきかない

リモコンに電池は入っていますか。

▶ お買い上げ時には電池は入っておりませんので、別途お買い求めください。

冷風ランプが点いたり消えたりする

水量が不足していませんか。

▶ 注水してください。水が少なくなったため故障ではありません。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

# アフターサービスについて

## 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対に行わないでください。感電やけがの恐れがあります。

## 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

### お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は  
info\_a@yamazen.co.jp

### 個人情報のお取扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

# メモ

---